

市議会は秋葉市長への個人攻撃ではなく

どうやって財政再建するのか真剣な論議を

予算特別委員会・総務関係 3月17日 皆川けいし議員の質問

いま、まさに「広島丸」は沈みかかっている

【皆川】 財政非常事態宣言が出され、いま、まさに「広島丸」は沈みかかっている。市議会は、一丸となつてとりくまなければならぬのに、この間の議論からは、そんな様子がかげえない。

公共事業見直しについても、「総論賛成、各論反対」という意見が多い。行政と議会のどちらが悪いかといえば両方悪いが、問題は、どちらが悪いということではなく、これからどうするかだ。

船が沈みかかっているという認識は、私だけなのだろうか。市は、いま一度ここで、市財政がどれほど深刻であるのか示してほしい。

皆川議員の問いかけに対し財政局は、「このままの財政運営を続ければ、早ければ05年度にも財政再建団体に転落する」とあらためて説明しました。

見直し委員会の議論はいい加減ではない

皆川議員は、「公共事業見直し委員会は、市の財政健全化計画とは関係のないところで議論したのか」と質問。南部盛一財政局長は、財政健全化計画をベースに議論されたと答えました。

【皆川】 私も委員会を傍聴してきて、そう思う。市の財政状況をみて、「あといくらしか使えない」と数字を確認しながら議論が進んでいった。

財政健全化計画は、議会にも詳しい説明がなされており、財政再建の基本的な方向が示されている。これに基づいて見直しの議論が進んでいった経過を見てきているだけに、いい加減な議論ではなかったということをおは身をもって知っている。

大規模プロジェクトを見直すか
それとも、市民サービスをけずるか

【財政局】 新年度予算案では、中期財政収支見通しで試算していた246億円の収支不足を解消することができた。

財政局の説明をうけて皆川議員は、「仮に大規模プロジェクトを見直さずに予算編成した場合はどうなるのか」と質問しました。

【財政局】 大規模プロジェクトを見直さずに考えた場合、75億円の財源不足(国の補助金や市債を除いた一般財源)が生じる。そうすると、大規模プロジェクト以外の投資的経費(市民生活に密着す

る小規模事業など)や、扶助費、人件費の削減によつて収支不足を解消することになるが、それは実際にはむずかしい。

【皆川】 すべての大規模プロジェクトが悪ではない。市民からみて良い事業もあるが金額が一番大きい。すでに、物件費、人件費、扶助費、補助費も相当削っている。大規模プロジェクトを削らずに、ここですべてをカバーするのは無理だと考えていいか。

【財政局】 (カバーすることは)むずかしい。

船が沈まないためにやるべきことは

【皆川】 見直し委員会のメンバーや、秋葉市長のやり方が気に入らないとか、いろいろ意見はあると思う。しかし、いま一番の本論はここにある。公共事業を見直すしか財政再建の道はない。

批判ではなく、どう再建するのか自らの対案を示さなければ船は沈む。私は反対だが、道州制に賛成という声もある。開発を進めたいという声もある。しかし、船が沈んでしまえば終わり。いまは、財政再建を最優先にして、行政も議会も前を向いて考えなければならない。

「公共事業の見直し」は いまや全国的な世論

予算特別委員会(3/18) 皆川けいし議員の総括質疑

市長への個人攻撃は市長支持した市民への冒とく

予算特別委員会の総括質疑では、市長への聴くに耐えない個人攻撃と新年度予算案への批判が相次ぎました。

議会主流派のある議員は、新年度予算案に計上されている公共事業見直し委員会の運営(約711万円)、公営企業等あり方検討委員会の設置(約540万円)、市政創造委員会の設置(約208万円)について、「追って沙汰をする」と発言。

別の議員は、「市長のプライベートな(公共事業見直し)委員会を大々的に宣伝した」と批判し、「共産党は評価するというが私は評価しない。予算を否決したら恫喝になるのか」と挑戦的な発言をしました。さらに別の議員からは、「市長は職員から全然信頼されてない」と中傷する発言まで飛び出しました。

このような発言は、市民への公約を果たそうとする秋葉市長への個人攻撃にとどまらず、切実な願いを託して市長を支持した市民への冒とくにほかなりません。

見直し委設置予算(03年度)に賛成したのに……

総括質疑に立った皆川議員は、「いま市議会がやるべきことは市長への個人攻撃ではない。行政と議会が一体となって、市財政の立て直しを考えるときだ」と強調。財政再建の対案を示さないまま、市長攻撃に固執する議会主流派の姿勢を批判しました。

また、「公共事業見直し委員会を設置するための今年度予算(6月補正)に全会一致で賛成しておきながら、個々の事業の見直し内容が示されたとたん、市長のやり方が気に入らないと言い始めるのはおかしい」とけん制。

見直し委員会のメンバーが、政府や他の自治体の審議会などでも公共事業の専門家として評価されていることを市にあらためて確認した上で、「見直し委員会が果たした最大の貢献は、大規模プロジェクトをどう見直せばいいのか、その枠組みを示したことだ」と強調しました。

秋葉市長の公約実現への姿勢をあらためて評価

皆川議員は、公共事業見直しに対する市民の声はどうかと質問。秋葉市長は、「一番多いのは、『市の財政が厳しく大変だが頑張ってください』というもの」と報告しました。

皆川議員は、「公共事業見直しはいまや全国的な世論。この世論に本気で応えてきたか——これが行政と議員に問われている」と述べ、秋葉市長の公約実現に対する姿勢をあらためて評価しました。

いは
いは 新年度予算案の
採決です!

市民の良識を
みせるとき

「公共事業見直しの流れ止めるな」の声を議会へ集中しましょう! 多くの傍聴をお願いします。

25日(木) 予算特別委員会 討論・採決

26日(金) 本会議 04年度関係議案議決

いずれも10時から

まともな財政論議ないまま市長への個人攻撃つづく

予算特別委員会・総括質疑(3/18)でのある議員の発言(抜粋)

公共事業見直し委員会について

これまで審議会や諮問委員会などに意見を求めるときは、法令、条例にもとづいてやっているが、今回の委員会は、要綱で取り扱っている。だから、市長が「参考意見にする」というのはしごく当然だ。しかし、市長がプライベートな委員会を大々的に宣伝したことが問題を大きくした。……共産党は、しがらみがないから評価というが私は評価してない。このことが混乱を招いた大きな要因だ。

秋葉市長の掲げる「人間都市ひろしま」などについて

こんなものは議会で了解したものではない。公共事業の見直し委員会の目的「美しい都市ひろしま」が出てきたが言葉が独り歩きしている。……あまりに言葉が多すぎる。結局わ

けわからんようになってくる。……(計画を)そのままやるほうがよっぽど美しいまちだ。段原にしてもBブロックにしても、今のままではひとつも美しくない。

市長と議会を「車の両輪」にたとえて

(車とは)私は自転車だと思う。運転するのも市長、ペダル踏むのも市長、私らは後輪、後ろをついていだけというふうに思えてしかたがない。……ブレーキは後ろについている。前でブレーキをかけたらひっくりかえる。ブレーキは後ろについていることをよくしておいてほしい。今のようなことが続いていると、悪名高い、歴史の語り草になっている美濃部都政になりやあせんかという心配をしている。花もて迎えられる、石もて追われないように。